

令和7年度 教科研修会Ⅱ 美術科 授業の様子

題 材 名	身近な美を飾ろう		
授 業 学 級	1年E組 (35名)	授 業 者	田村 淳樹
主 眼	学習発表会の展示で、観る人に〇〇を伝えるには、どのような額縁で飾ればよいか考える場面で、額縁デザインポイントに着目して試しづくりながら構想することを通して、主題を表す表現になっているか考え、構想を練ることができる。		

【本時の様子】

A生は、学校の校庭から見える風景を身近な美として捉え、描き表してきた着彩の柔らかい印象や、風景の場面から感じられる雰囲気から、「のどかな雰囲気を引き立てるような額縁にしたい」という主題を生み出しました。A生は、導入場面の示範で扱った「額縁デザインポイント」の「ムーブメント」をヒントにしながら、風を感じる模様を構想し、形や配置を工夫しながら試しづくりをする姿が見られました。また、教師の示範作品を見つめ、角を丸く切り取ることでさらにのどかな雰囲気を表現できると考え、額縁の枠の輪郭の形を丸くしている姿がありました。

次時は、ここまで表してきた自らのデザインが、主題を表現しているかを客観的に捉えるために、相互鑑賞を行い、表現の構想の練り直しをします。生徒が自らの表現ととことん向き合い、主題と構想を練り直す中で、考えを深めていく授業を、これからも生徒と共に創っていきたいと思います。



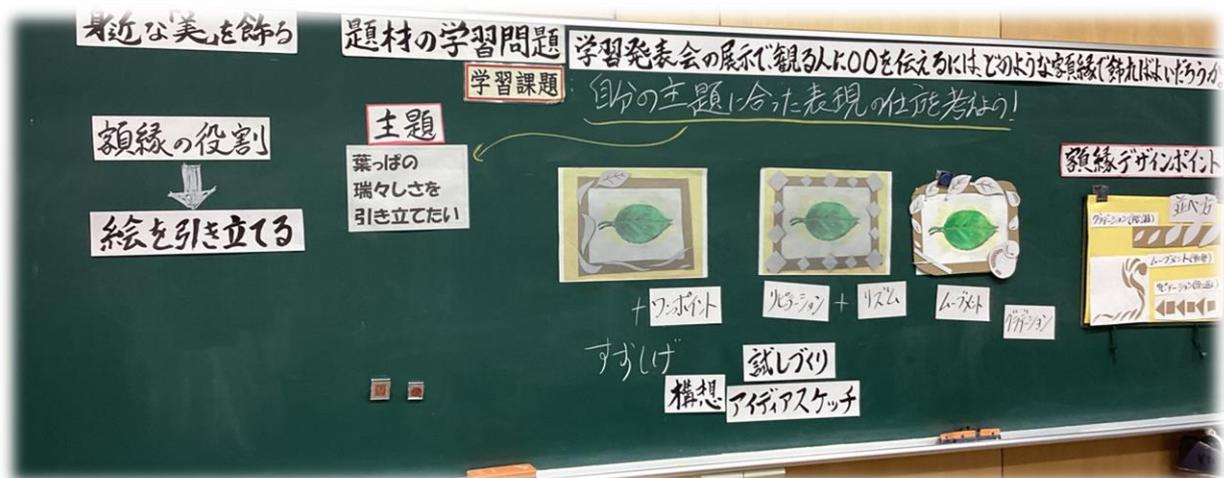
構想の手掛かりを確認する様子
(導入場面の示範)



主題を基に構想する生徒
(アイデアスケッチや試しづくり)



個別支援の様子



本時の板書